

令和5年度 第3回
栃木西部地域会議会議録

令和5年6月20日(火)
栃木市皆川公民館 大研修室

栃木西部地域まちづくりセンター

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回栃木西部地域会議
開催日時	令和5年6月20日(火) 19時00分 開会 21時00分 閉会
開催場所	皆川公民館 大研修室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">— 開会 —</p> <p>2 あいさつ</p> <p style="text-align: center;">— 酒巻会長あいさつ —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月26日(金)、第1回皆川中・吹上中・寺尾中学校統合準備会が開催された。 ・統合の時期は令和8年4月1日に統合することに決定した。 ・5月29日(月)付の下野新聞に決まったことを含めて、的確な内容で記事になっている。 ・6月28日(水)に学校関係者による検討部会が開催される。 ・地域(あわせて保護者)に対する説明会を、7月4日(火)(吹上)、5日(水)(寺尾)、6日(木)(皆川)と開催する。 <p>3 情報提供</p> <p>(1) 栃木市都市計画マスタープラン(改訂版)及び栃木市立地適正化計画「防災指針」策定の基本方針について(都市計画課)</p> <p style="text-align: center;">— 資料1に基づいて説明 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木市都市計画マスタープランでは、おおむね10年毎に見直しを行うことを定めている。第2次栃木市総合計画や立地適正化計画と整合性を図るため、令和5年度から令和6年度の2ヶ年をかけて、改訂版の策定をおこなうもの。 ・防災指針は令和2年の都市再生特別措置法の改正により立地適正化計画の中に記載することとなった。都市の防災に関する機能の確保に関する指針

	<p>を定める必要が出てきたことから、都市計画マスタープランの改定に合わせて令和6年に策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランは、市全域を対象とした都市政策の基本方針を定めるもの。土地利用の部分や都市施設の整備に関する市のまちづくりの大きな方向性を定めている。 ・立地適正化計画は都市計画マスタープランの高度化版と呼ばれ、都市計画マスタープランの一部とみなされる。コンパクトシティを進めるための実行計画のようなもの。コンパクトシティとは、商業施設や医療福祉施設などの都市機能、住宅、公共交通が近接して立地している効率的な都市のこと。限られた資源の集中的・効率的な利用を図って持続可能な都市を実現していく。 ・都市計画マスタープランは20年の計画のうち10年目の中間見直しとなるので、大幅に変更するのではなく、現行のマスタープランをベースにしなが、現在の都市の現状や課題を詳細に把握した上で、新たな施策や現在のまちづくりのトレンド（SDGs、デジタル化）を反映していきたい。 ・近年、豪雨による水害等が頻発していることから、立地適正化計画の中で居住誘導区域内における防災・減災の取組みを示すものが防災方針である。居住誘導区域とは、市街化区域の内側に設定している区域であり、コンパクトシティを推進するために、市として市民に住んでもらいたい区域を示したもの。 ・市の検討体制としては、作業部会、策定委員会を経て最終的には市の最高意思決定会議である庁議で審議して策定する。その過程において、市民に対しては、地域会議での説明やパブリックコメント、HP、広報紙等で情報提供・意見聴取を行い、そのあとは法的な手続きである都市計画審議会から意見を聴取して策定する。 ・都市計画マスタープランの構成の中で、地域別構想という章があり、各地域の特性や課題を踏まえて都市づくりの目標や整備方針を決める。本格的な意見聴取は来年度になるが、今後、地域会議にも課題やまちづくりの方向性の意見をいただきたい。
副会長A	コンパクトシティは具体的にどのくらいの規模をイメージすればいいのか。
都市計画課	<p>規模的なもので言えば決まりは特にはない。立地適正化計画は将来的には市街化区域に住んでもらいたいというのがコンセプト。強制ではなく、色々なインセンティブを付与しながら、緩やかに人が中心に集まるよう誘導する施策。</p> <p>今ある市街化区域の中に居住誘導区域を設定してあり、市としてはそのエリアの中に移動して欲しいと考えている。方針としては、市役所や総合支所、鉄道駅、バス停等の周辺を中心にエリアを設定している。</p> <p>栃木西部地区の多くは市街化区域外となるので、居住誘導区域は設定できないが、今ある集落に住んではいけないということではない。維持していく施策は他で打っていく。そういったところと居住・都市機能を誘導するエリアを公</p>

	<p>公共交通で結ぶことで利便性が下がらないようにしていくのが立地適正化計画の趣旨である。車が運転できない方が増えても、公共交通により普段の生活が低下しないようにするという計画である。</p>
副会長 A	<p>「ここに住んでください」という計画を作って人を集めるが、残る人も当然いる。残る人をフォローする計画ということか。</p>
都市計画課	<p>将来的に全員が居住誘導区域に入ればいいがそうはいかない。立地適正化計画では、区域外の方々の生活の利便性が下がらないよう、コンパクト+ネットワークということで進めている。</p> <p>残る方々へのしっかりとした施策は別のものになる。郊外部の方々への生活の保障等は色々な施策で総合的にやっていくしかない。将来を見据えて持続可能な都市になっていくためには、コンパクトにしていかないといけない。郊外に広がっていってしまうと、その分、道路を作ったり下水道を通したりする建設費や維持費がかかってしまう。人口が減っていく中で効率的な都市にするのが全国的な方向性になっている中で、市のまちづくりの方針としてはコンパクトにするという計画で進んでいく。</p>
副会長 A	<p>要するに人口が減っているのでコンパクトにしていくということか。</p>
都市計画課	<p>そのとおり。医療施設や商業施設といった都市機能は周りにある程度の人口がいないと成り立たない。市街地が郊外にどんどん広がり人口が減ってしまうと、今まで人口密度に支えられていた施設がなくなってしまう可能性がある。そういったことにならないよう、ある一定の場所に都市機能を集約し、人を住まわせることで、都市機能は人口に支えられる。周りに住んでいる人は、歩いて行けるところにお店があるので便利に暮らせる。そこに住まない方々には集落に対して公共交通を結んで、都市機能にアクセスできるようにしていく。</p>
会長	<p>長い目で見ればそうせざるを得ない施策だと思うが、そうでない人にとっては「過疎化が進むじゃないか」と思ったかもしれない。</p>
委員 A	<p>栃木市においては「栃木市都市計画マスタープラン」となっているが、こういったことは全国的におこなわれていることなのか。また、雛型のようなものがあるのか教えて欲しい。</p>
都市計画課	<p>栃木県内では全ての自治体が作っている。都市づくりの視点でどうするかを決めている計画である。</p> <p>計画に記載する項目は、国の技術的な指針である運用指針で示されている。地域別構想を入れたり公共交通など色々な分野と連携しながら、都市計画基礎調査という5年に1回の調査に基づいて作る。</p>

委員 A	<p>SDGs がかなり盛り込まれている内容だと思う。世界的に取り組んでいるのは分かるが、市の方であまりにも極端にやるよりは、都市化と残すべき自然の住みやすさをいい塩梅で持って行っていただけると幸いである。</p>
都市計画課	<p>立地適正化計画や都市マスは中心部や市街化区域だけの計画を作るものではなく、郊外部、田園部、文化的なものを活かしながら、まちづくりをどうしていくかという計画である。都市部は都市部の作り方、郊外や田園地域はその特性を活かしたまちづくりを示した計画になる。一概に都市化を進めるということではない。それぞれの地域の課題を意見として吸い上げて、反映できるものは反映していければと考えている。</p> <p style="text-align: center;">— 都市計画課退席 —</p>
事務局	<p>4 議事</p> <p>(1) 令和 6・7 年度実施 地域予算提案事業案について</p> <p>今回は「地域課題深掘り」を大きなテーマとする。</p> <p>〈説明（地域課題の共有について）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のグループワークでは、委員が考える栃木西部地域の課題について、話し合った。 ・課題を共有すると、必然的に「どこが」もしくは「何が」課題であるかという話が出てくると思う。 ・今回は前回の話し合いをさらに深掘りし、どこをどうすれば課題の解決に繋がりそうか考える（課題の深掘り）回とする。 <p style="text-align: center;">— 資料 2-1～資料 2-3 に基づいて説明 —</p> <p style="text-align: center;">— グループワーク —</p> <p>①自己紹介</p> <p>②地域課題の書き出し（個人作業）</p> <p>→「地域の課題」を自分の地域に当てはめて考えた時に、どこを（もしくは何を）思い浮かべたか。</p> <p>③課題の共有（グループ単位）</p> <p>→それぞれが思い浮かんだ場所やコトを発表。</p> <p>④地域課題の書き出し（個人作業）</p> <p>→（先ほど出てきた）課題はどうすれば課題に繋がるか。</p> <p>⑤課題の共有（グループ単位）</p> <p>→それぞれが考えた課題の解決に繋がりそうなことを発表。</p> <p>⑥課題の発表（全体）</p> <p>〈課題の発表〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ単位での課題の共有が終了した後、話し合いの中で特に印象に残っ

委員B	<p>た課題について、各グループの代表者1名が全員に向けて発表。</p> <p>A班では、まず空き家が多いという話になった。具体的には、家の近くに誰も世話をしていない大きな木があるが、どうするのかという問題。</p> <p>そこから、若い人がいない、買い物ができない、少子高齢化で子どもが少ないといった話になった。若い人が一緒に住んでくれないことで、高齢者の方がなかなか買い物に行けない問題に繋がっているのではないかと。</p> <p>子どもたちがみんな元気にあいさつし、高齢者から小さな子どもが顔見知りになることで、地域の良さを活かした住みよい地域になり、地域の活性化に繋がるのではないかとということで話は終わった。</p>
委員C	<p>B班のメインの話題となったのは獣害対策。田にイノシシや鹿が出る、家の中にサルが入ってきて荒らされる。対応策としては、罠、捕獲するハンターを増やす。サルを集めた温泉施設を作り観光化するという意見も出てきた。</p> <p>農業の後継者不足といった点からは、都市部から農業体験希望者を募り受け入れる。その際に空いている空き家を使って長期にわたって体験をしていただくのはどうか。</p> <p>小学校・中学校の通学路に関しては狭いところがある。ポールやガードレール等の設置をお願いしたいところ。</p> <p>たくさん意見が出たが最終的には「行動と実行」であると話があった。</p>
委員D	<p>C班では、農業後継者不足。米価が下がり、後継意欲がなくなってしまうのが問題。その空き地にも困っている。以前は市や県から花木の種の配布や補助をしていたが、今はなくなってしまった。コスモス祭りといったイベントがなくなってしまったので、放棄地が余計目立ってきているように思う。放棄地を解消するためには全国的な募集やPRが必要。</p> <p>少子高齢化対策としては、結婚相手がいないのが問題。海外を含めた全国的な募集を考えてもいいのではないかと。</p> <p>買い物弱者対策としては、昼間走っているふれあいバスを見ると乗客がほとんどいない状態。昼間はふれあいバスをタクシー代わりに使ってはどうか。買い物などで利用する人が多くなるのではないかと。</p> <p>空き地をキャンプ場として利用できないかという意見もあった。皆川ではキャンプ場が間もなく稼働となる。</p>
事務局	<p>(2) 令和5年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の解決に繋がるテーマの講座を開催し、地域のリーダーの育成を図るもの。 ・平成30年度から継続事業として（令和3年度を除く）ほぼ毎年実施しており、今年度も委託料として20万円の予算をとっている。 ・委託先をどこにし、どんな内容とするか検討いただきたい。 ・事務局案としては、委託先を「特定非営利活動法人 ハイジ」にお願いした

	<p>いと考えている。平成30年からの継続事業で今までずっとハイジに委託をしてきたため、これまでの経緯も良く分かっている。また、「とちぎ市民活動推進センターくらら」の運營業務をおこなっており、他の公民館事業でもいろいろな講座を開催している。</p> <p>・また、今年度は、委員の皆さんができるだけ手作りでおこないたい、自分たちで準備をして実施したいという要望がある。委員主体で事業を実施するためにも、これまでの開催実績・ノウハウを含め、ハイジが良いのではないかと考えるが検討いただきたい。</p>
副会長B	回数は1回になるか。
会長	3回となる。
副会長A	テーマに関してはある程度こちらからオーダーできるのか。
事務局	テーマについては、皆さんの要望を踏まえたい。今日の会議で課題が出てきたところも踏まえた上で委託先と相談しながら決めていくのはどうかという考え。
副会長B	ハイジはこの地区のことをよく分かっていると思う。
副会長A	テーマの要望として、会議の冒頭で中学校統合の話が出たが、統合したあとは校舎が空いてしまう。空き校舎の利用をテーマとして扱ってほしい。
会長	先ほどのグループワークで地域の課題をいろいろ話し合いしてもらったが、その中からチョイスするのもありだと思う。
委員E	グループワークではあんなに短い時間でもあんなに意見が出てきた。3つにグループを分けるのであれば、グループごとに話し合う課題を決めて徹底的に話し合う必要があるのではないか。今月の会議でやったものを持って帰り、来月の会議でもやれば、またいろいろな意見が出てくると思う。そうやって深掘りをしていかなければいけない。机上だけでなく、実行に移さないといけない。
事務局	会議の運営方法については、事務局と会長・副会長で綿密に打合せをしていきたい。事務局で預かる。
会長	次の熟くり塾を決めるにあたり、委託先であり相談先を決めたい。委託先はハイジでよろしいか。
会長	<p style="text-align: center;">〈一同異議なし〉</p> <p>それでは、委託先を「特定非営利法人 ハイジ」とする。</p> <p>続いて、テーマについて、なにか意見はあるか。</p>

委員A	<p>今までは自分たちの要望というよりは、オートマティックに決まってしまったような感じであった。なかなか思いつかないので、どんな講座ができるかの一覧やメニューから選べるようにして欲しい。</p>
事務局	<p>今日もいろいろな意見が出てきたので、今日の話合いの中身もハイジに見ていただこうと思っている。選択肢があった方が比較しやすいと思うので、可能な限り選択ができるような形で出してもらえよう進めていきたいと考えている。</p>
委員C	<p>第1回目の会議でも話したが、なにか楽しいことがしたいと思っている。肩のこる会議や講演会だけでなく、(平成30年に春風亭昇太さんが来てくれた時のように)肩の力を抜いて楽しめるようなものも予算の範囲内でひとつ入れて欲しい。</p>
事務局	<p>皆さんが興味を持ってもらえるようなものを、第一として進めたい。</p>
委員B	<p>中学校の統合の話があるので、3回のうち1回でも寺尾・皆川・吹上の子どもたちの楽しめる回があってもいいと思う。</p>
会長	<p>この後も皆さんから意見があれば事務局に連絡を入れて欲しい。</p>
事務局	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木西部地域会議だより 第16号の発行について <ul style="list-style-type: none"> ・8月18日発行の広報とちぎ9月号にあわせて第16号を発行予定。 ・次回の会議時、案を提示できる見込み。 ・地域会議における部会の取り扱いについて <ul style="list-style-type: none"> — 資料4に基づいて説明 — ・藤岡、都賀、岩舟の地域会議において、部会を設置しているが、地域会議を開催した日に部会を開催する形での運用。全体で話し合った後、部会ごとに話し合い、最後、部会で話し合ったことを共有するといった流れ。(会議報酬4,000円のみ支払い) ・第4回栃木西部地域会議について <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月18日(火)19時から 吹上公民館にて開催予定 <p>5 閉会</p> <p style="text-align: center;">—— 以上、何も無いことを確認 ——</p> <p style="text-align: center;">—— 閉会 ——</p> <p style="text-align: center;">(会議終了時刻 21時00分)</p>

別紙1 出席者及び事務局

<出席者（委員）>

会 長	酒巻 幸夫	副会長	峰岸 晃一
副会長	中島 元一	委 員	宇佐見 まり子
委 員	厚木 秀夫	委 員	毛塚 豊子
委 員	門沢 イミ子	委 員	石沢 恵一
委 員	小池 祐也	委 員	鈴木 加織
委 員	正田 秀雄	委 員	蓼沼 善雄
委 員	関口 みよ子	委 員	吉田 美奈子
委 員	棚橋 利行		

<欠席者（委員）>

な し

<事務局>

飯島 洋子	(吹上公民館長兼栃木西部地域まちづくりセンター所長)
金子 博文	(皆川公民館館長)
佐藤 光三	(寺尾公民館館長)
石沢 竜次	(吹上公民館主査)

<その他出席者等>

鈴木 宏彰	(都市計画課副主幹)
吉田 容子	(都市計画課主査)

別紙2 会議事項及び配付資料一覧

<会議事項>

1 開会

2 あいさつ

3 情報提供

- (1) 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」策定の基本方針について（都市計画課）

4 議事

- (1) 令和6・7年度実施 地域予算提案事業案について
- (2) 令和5年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について

5 その他

- ・ 栃木西部地域会議だより 第16号の発行について
- ・ 地域会議における部会の取り扱いについて
- ・ 第4回栃木西部地域会議について

6 閉会

<配布資料一覧>

- ・ 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」策定の基本方針 **資料1**
- ・ 「地域課題の共有」まとめ **資料2-1**
- ・ 「地域課題の深掘り」スライド **資料2-2**
- ・ 第3回栃木西部地域会議 グループ分け **資料2-3**
- ・ 栃木西部地域会議まちづくり塾（栃木西部熟くり塾）について **資料3**
- ・ 地域会議における部会の取り扱いについて **資料4**
- ・ 令和5年度 協働のまちづくりセミナーチラシ
- ・ 「どうする家康！どうした広照！」チラシ